＜講座展開案＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 時　間 | 内　容 | 対　応 | 備　考 |
|

|  |
| --- |
| 本講座の目的：日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震とそれに伴う津波 |

【事前の準備】　・　ハザードマップの持参を周知　・　リーフレット、ワークシート、配付資料の準備（印刷）　・　講座とワークショップで使用するパワーポイントの確認　・　講座パワーポイントのスライド３にyoutube動画のURLを貼付【当日の準備】　・　講師使用パワーポイント入りのパソコンの用意（インターネット接続）　・　プロジェクター、スクリーン、スピーカー（人数が多い場合）の用意 |
| 【講座：津波からいのちを守るために】 |
|  |  |  | ・講座パワーポイントに基づく説明（ネット上で公開されている教材動画３本放映） | ・動画放映スライド（3、15、18） |
| 【ワークショップ：自分の津波避難計画を作成してみよう】 |
|  | 導　入スライド１～７ | １．前時（講座）の振り返り　⇒　早期避難の重要性についての再確認＋事前の備えの必要性を認識させる。 | ・受講者に発言を求めながら進める。（スライド２～４） |  |
| 展　開スライド８～24 | ２．「自分の津波避難計画を作成してみよう！」の実践　(1) ステップ１の記入（10分程度）　(2) ハザードマップを見ながらステップ２の記入（10分程度）　(3) ステップ１・２の意図の説明（３分程度）　(4) ステップ３の記入（55分程度） | ・記入中は巡回指導（受講者のシート記入内容の確認・質疑対応）を行う。・各ステップにおいて先に記入が済んだ人に対しては、説明を待たず進めるのではなく、説明後に記入するよう伝える。　※７～８割が記入済んだ段階で次ステップの説明に移行しても可。（その場合は最後にまとめて時間を追加する。） | ・配付資料を活用 |
| 共　有スライド25 | ３．作成したシートの共有（25分程度） | ・近隣の受講者と作成したシートを共有し、意図の説明や質疑を通して理解を深める。・共有中は巡回指導を行い、助言等を行う。 | ・共有しやすいように配置変更を検討。 |
| まとめスライド26～34 | ４．ワークショップのまとめ　(1) ワークシートの活用・訓練等での実践について　(2) 自助意識の向上　(3) 命を守るポイントのおさらい | ・時間に余裕があれば共有内容の発表や本講座を通して学んだことの発表も検討。 |  |